

補助事業計画書・成果報告書－1

計画 平成27年 4月 1日 策定

平成 年 月 日 修正

成果報告 令和 2年 5月31日 報告

担当課

建築指導課

補助金等の名称	佐倉市危険コンクリートブロック塀等の除却、フェンス等の設置及び緑化推進補助金
---------	--

予算科目	一般会計	款	7	項	1	目	2
予算事業名	既存建築物耐震改修等支援事業						
実施計画の位置づけ	第2章6消防・防災 4災害に備えた体制を整備します						

補助金分類		
国県補助の状況	国補助・県補助	230 千円
交付先	「個人」	
支出根拠規定	佐倉市危険コンクリートブロック塀等の除却、フェンス等の設置及び緑化推進補助金交付要綱	

補助の目的	安全かつ快適な緑の街づくりを推進するため、地震時等に倒壊のおそれのある既存の危険コンクリートブロック塀等の除却及び緑化を行う。
補助の効果	危険なブロック塀等を排除することにより、地震災害時における2次災害を防ぎ市民の生命、財産の安全確保を図る。
補助対象事業の具体的内容	(1)主として通学路に面したブロック塀等で危険な状態であるもの (2)災害時の避難路に面したブロック塀等で危険な状態であるもの (3)その他(1)(2)に準ずるもの
対象経費及び補助率	(対象経費) ①危険コンクリートブロック塀等の除却に要する経費及び除却に伴い発生する資材の処分に要する経費 ②危険コンクリートブロック塀等の除却に併せて行うフェンス等の設置に要する経費 ③危険コンクリートブロック塀等の除却に併せて行う緑化に要する経費 (補助率) ①対象経費の1/2とし、除却する延長距離1mあたり1万円を限度とする ②対象経費の1/2とし、設置する延長距離1mあたり1万円を限度とする ③対象経費の1/2 ①～③の合計額で上限20万円
補助金額の根拠	①②危険コンクリートブロック塀等の除却工事及びフェンス等の設置工事に要する経費は、それぞれ200千円/10mと想定し、その1/2を補助額として設定した。 ③緑化は、過去の実績において100千円/件と設定した。
備考	
1/2を超えて補助、設立5年を超えて運営費補助する理由	
その他	
補助期間	平成27年 4月 1日～令和2年 3月31日

補助事業計画書・成果報告書－2

		担当課	建築指導課	
補助金等の名称	佐倉市危険コンクリートブロック塀等の除却、フェンス等の設置及び緑化推進補助金			
平成27年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	600	5件／年	134	2件
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	相談から事業に至るものが少ないと思われます。 今後も住民回覧や危険ブロック調査などを行い、事業の周知、啓発に努めます。			
平成28年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	600	5件／年	300	5件
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	相談から事業に至るものが少ないと思われます。 今後も住民回覧や危険ブロック調査などを行い、事業の周知、啓発に努めます。			
平成29年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	600	5件／年	137	3件
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	相談から事業に至るものが少ないと思われます。 今後も住民回覧や危険ブロック調査などを行い、事業の周知、啓発に努めます。			
平成30年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	600	5件／年	528	8件
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	大阪府北部地震におけるCBの倒壊事故により、申請件数が増加しました。 今後も住民回覧や危険ブロック塀調査などを行い、事業の周知、啓発に努めます。			
令和元年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	4,600	23件／年	371	3件
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	相談から事業に至るものが少ないと思われます。 今後も住民回覧や危険ブロック調査などを行い、事業の周知、啓発に努めます。			
計画期間終了後の最終的な目標値	年間目標とする事業件数の100%達成			
計画期間終了後の最終的な成果値	年間目標とする事業件数の44%達成			